

1. 法人基本情報

(1)都道府県区分	(2)市町村区分	(3)所轄庁区分	(4)法人番号	(5)法人区分	(6)活動状況
01 北海道	584 虻田郡洞爺湖町	01000	7430005009763	01 一般法人	01 運営中
(7)法人の名称	社会福祉法人あぶた福祉会				
(8)主たる事務所の住所	北海道	虻田郡洞爺湖町	清水 1 4 2 - 3		
(9)主たる事務所の電話番号	0142-76-3298	(10)主たる事務所のFAX番号	0142-76-3284	(11)従たる事務所の有無	2 無
(12)従たる事務所の住所					
(13)法人のホームページアドレス	http://www.abutafukusikai.or.jp/		(14)法人のメールアドレス	yuuai-nakano@ymail.plala.or.jp	
(15)法人の設立認可年月日	昭和57年9月9日	(16)法人の設立登記年月日	昭和57年10月1日		

2. 当該会計年度の初日における評議員の状況

(1)評議員の定員	7	(2)評議員の現員	7	(3-6)評議員全員の報酬等の総額（円）	0
-----------	---	-----------	---	----------------------	---

(3-1)評議員の氏名	(3-2)評議員の職業	(3-3)評議員の任期	(3-4)評議員の所轄庁からの再就職状況	(3-5)他の社会福祉法人の評議員・役員・職員との兼務状況	(3-7)前会計年度における評議員会への出席回数
赤川 龍磨		H29.4.1 ~ H33.6	2 無	1 有	1
喫茶カトレア 代表					
安住 八重子		H29.4.1 ~ H33.6	2 無	2 無	1
無職					
毛利 納		H29.4.1 ~ H33.6	2 無	1 有	1
無職					
伊藤 賢二		H29.4.1 ~ H33.6	2 無	2 無	1
無職					
綱嶋 勉		H29.4.1 ~ H33.6	2 無	2 無	1
無職					
吉田 聡		H29.4.1 ~ H33.6	2 無	2 無	1
アオバ薬局 代表					
増山 顕佑		H29.4.1 ~ H33.6	2 無	2 無	0
皇恩寺 住職					

3. 当該会計年度の初日における理事の状況

(1)理事の定員	6	(2)理事の現員	6	(3-12)理事全員の報酬等の総額（円）	24,717,674	2 特例無
----------	---	----------	---	----------------------	------------	-------

(3-1)理事の氏名	(3-2)理事の役職	(3-3)理事長への就任年月日	(3-4)理事の常勤・非常勤	(3-5)理事選任の評議員会議決年月日	(3-6)理事の職業	(3-7)理事の所轄庁からの再就職状況
	(3-8)理事の任期	(3-9)理事要件の区分別該当状況			(3-10)各理事と親族等特殊関係にある者の	(3-11)理事報酬等の支給形態

			有無		出席回数
夏目 與市	1 理事長（会長等含む。）	平成28年10月1日	2 非常勤	平成29年6月20日 無職	2 無
	H29.6.20 ~ 平成30会計年度に関する定時評議員会の終結時の年月		1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	2 無	4 いずれも支給なし
上埜 二郎	2 業務執行理事（常務理事等含む。）		1 常勤	平成29年6月20日 法人常務理事	2 無
	H29.6.20 ~ 平成30会計年度に関する定時評議員会の終結時の年月		1 社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	2 無	3 職員給与のみ支給
木村 芳秀	3 その他理事		1 常勤	平成29年6月20日 清水友愛の里施設長・ふれんど所長	2 無
	H29.6.20 ~ 平成30会計年度に関する定時評議員会の終結時の年月		3 施設の管理者	2 無	3 職員給与のみ支給
工藤 真	3 その他理事		1 常勤	平成29年6月20日 あすなる・いちばんぼし所長	2 無
	H29.6.20 ~ 平成30会計年度に関する定時評議員会の終結時の年月		3 施設の管理者	2 無	3 職員給与のみ支給
村上 僚男	3 その他理事		1 常勤	平成29年6月20日 大真寺 住職	2 無
	H29.6.20 ~ 平成30会計年度に関する定時評議員会の終結時の年月		2 事業区域における福祉に関する実情に通じている者	2 無	4 いずれも支給なし
加賀谷 真由美	3 その他理事		2 非常勤	平成29年6月20日 洞爺湖町教育委員会 教育指導専門員	2 無
	H29.6.20 ~ 平成30会計年度に関する定時評議員会の終結時の年月		2 事業区域における福祉に関する実情に通じている者	2 無	4 いずれも支給なし

4. 当該会計年度の初日における監事の状況

(1)監事の定員	2	(2)監事の現員	2	(3-6)監事全員の報酬等の総額（円）	0
----------	---	----------	---	---------------------	---

(3-1)監事の氏名	(3-2)①監事の職業	(3-2)②監事の所轄庁からの再就職状況	(3-3)監事選任の評議員会議決年月日
	(3-4)監事の任期	(3-5)監事要件の区分別該当状況	(3-7)前会計年度における理事会への出席回数
高橋 昭夫	無職	2 無	平成29年6月20日
	H29.6.20 ~ 平成30会計年度に関する定時評議員会の終結時の年月	6 財務管理に識見を有する者（その他）	6
八木橋 隆	無職	2 無	平成29年6月20日
	H29.6.20 ~ 平成30会計年度に関する定時評議員会の終結時の年月	3 社会福祉事業に識見を有する者（その他）	4

5. 前会計年度・当会計年度における会計監査人の状況

(1-1)前会計年度の会計監査人の氏名（監査法人の場合は監査法人名）	(1-2)前会計年度の会計監査人の監査報酬額（円）	(1-3)前年度決算にかかる定時評議員会への出席の有無	(2-1)当会計年度の会計監査人の氏名（監査法人の場合は監査法人名）	(2-2)当会計年度の会計監査人の監査報酬額（円）
税理士法人 さくら総合会計	583,200	2 無	税理士法人 さくら総合会計	583,200

6. 当該会計年度の初日における職員の状況

(1)法人本部職員の人数			
①常勤専従者の実数	②常勤兼務者の実数	③非常勤者の実数	
0	0	0	
常勤換算数		常勤換算数	
(2)施設・事業所職員の人数			
①常勤専従者の実数	②常勤兼務者の実数	③非常勤者の実数	
42	1	22	
常勤換算数		常勤換算数	
1209		16.4	

7. 前会計年度に実施した評議員会の状況

(1)評議員会ごとの評議員会開催年月日	(2)評議員会ごとの評議員・理事・監事・会計監査人別の出席者数				(3)評議員会ごとの決議事項
	評議員	理事	監事	会計監査人	
平成29年6月20日	6	4	1	0	・平成28年度「社会福祉事業区分」決算の認定について ・理事及び監事の選任について ・役員及び評議員の報酬等に関する規程の制定について ・社会福祉充実計画について

(4)うち開催を省略した回数 0

8. 前会計年度に実施した理事会の状況

(1)理事会ごとの理事会開催年月日	(2)理事会ごとの理事・監事別の出席者数		(3)理事会ごとの決議事項
	理事	監事	
平成29年4月2日	6	1	・清水友愛の里防犯設備設置工事に係わる入札結果について
平成29年6月2日	6	1	・平成28年度「社会福祉事業区分」決算の認定について ・理事及び監事選任候補者の推薦について ・役員及び評議員の報酬等に関する規程の制定について ・社会福祉充実計画について ・平成29年度定時評議員会の招集について ・経理規程の一部改正について
平成29年6月20日	6	2	・理事長の選定について ・常務理事（業務執行理事）の選定について ・清水友愛の里外壁改修計画について
平成29年11月24日	5	2	・共同生活住居及び地域生活支援拠点施設整備計画について ・デイセンターあすなる送迎等用車輛の購入計画について ・デイセンターいちばんぼし送迎用車輛の購入（更新）計画について ・平成29年度「清水友愛の里拠点区分」第1次資金収支補正予算について ・平成29年度「デイセンターあすなる拠点区分」第1次資金収支補正予算について ・平成29年度「デイセンターいちばんぼし拠点区分」第1次資金収支補正予算について ・平成29年度「地域サポートセンターふれんど拠点区分」第1次資金収支補正予算について ・職員の通信教育受講及び資格取得等の助成に関する規程の制定について ・管理者の選任（変更）について ・常務理事（業務執行理事）の選定について

平成30年2月23日	6	2	・職員給与規程の一部改正について ・臨時職員等に関する規則の一部改正について ・世話人業務委託契約の締結における内規の一部改正について
平成30年3月27日	6	2	・平成29年度「法人本部」第1次資金収支補正予算 ・平成29年度「清水友愛の里」第2次資金収支補正予算 ・平成29年度「デイセンターあすなろ」第2次資金収支補正予算 ・平成29年度「デイセンターいちばんぼし」第2次資金収支補正予算 ・平成29年度「地域サポートセンターふれんど」第2次資金収支補正予算 ・平成30年度社会福祉法人あぶた福祉会事業計画 ・平成30年度「法人本部」資金収支当初予算 ・平成30年度「清水友愛の里」資金収支当初予算 ・平成30年度「デイセンターあすなろ」資金収支当初予算 ・平成30年度「デイセンターいちばんぼし」資金収支当初予算 ・平成30年度「地域サポートセンターふれんど」資金収支当初予算

(4)うち開催を省略した回数 0

9. 前会計年度に実施した監事監査の状況

(1)監事監査を実施した監事の氏名	高橋 昭夫 八木橋 隆
(2)監査報告により求められた改善すべき事項	無し
(3)監査報告により求められた改善すべき事項に対する対応	無し

10. 前会計年度に実施した会計監査の状況

(1)会計監査人による会計監査報告における意見の区分	
(2)会計監査人による監査報告書	

11. 前会計年度における事業等の概要 - (1)社会福祉事業の実施状況

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称				②事業所の名称				
		③事業所の所在地					④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)									
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積			
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日 (1回目)	(ア) - 2 修繕年月日 (2回目)	(ア) - 3 修繕年月日 (3回目)	(ア) - 4 修繕年月日 (4回目)	(ア) - 5 修繕年月日 (5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)			

001	法人本部	00000001	本部経理区分		法人本部				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	清水142番地3	4 その他	3 自己所有	昭和58年4月1日	0	0
		ア建設費		平成1年8月30日				0	103,680
		イ大規模修繕							
002	清水友愛の里	01040401	障害者支援施設（施設入所支援）		施設入所支援				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	清水142番地3	3 自己所有	3 自己所有	昭和58年4月1日	50	17,160
		ア建設費		昭和58年3月25日				0	2,213,170
		イ大規模修繕							
002	清水友愛の里	01040402	障害者支援施設（生活介護）		生活介護				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	清水142番地3	3 自己所有	3 自己所有	昭和58年4月1日	50	13,336
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
002	清水友愛の里	02130107	障害福祉サービス事業（短期入所）		清水友愛の里短期入所				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	清水142番地3	3 自己所有	3 自己所有	昭和58年4月1日	2	129
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
002	清水友愛の里	02130303	計画相談支援		友愛の里相談支援センター				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	清水142番地3	3 自己所有	3 自己所有	平成24年6月1日	0	216
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
002	清水友愛の里	02130501	地域活動支援センター		洞爺湖町地域活動支援センター（受託）				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	清水142番地3	3 自己所有	3 自己所有	平成18年10月1日	0	37
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
003	デイセンターあすなる	02130106	障害福祉サービス事業（生活介護）		生活介護				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	入江44番地1	3 自己所有	3 自己所有	平成15年9月1日	15	4,353
		ア建設費		平成15年8月28日				0	349,730
		イ大規模修繕							
003	デイセンターあすなる	02130113	障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）		就労継続支援B型				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	入江44番地1	3 自己所有	3 自己所有	平成15年9月1日	15	3,753
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
004	デイセンターいちばんぼし	02130106	障害福祉サービス事業（生活介護）		生活介護				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	泉5番地1	2 民間からの賃借等	2 民間からの賃借等	平成21年4月1日	12	2,401
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
004	デイセンターいちばんぼし	02130113	障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）		就労継続支援B型				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	泉5番地1	2 民間からの賃借等	2 民間からの賃借等	平成21年4月1日	18	4,626
		ア建設費						0	
		イ大規模修繕							
005	地域サポートセンターふれんど	02130114	障害福祉サービス事業（共同生活援助）		共同生活援助				
		北海道	虻田郡洞爺湖町	泉5番地1	4 その他	4 その他	平成18年10月1日	55	18,555
		ア建設費		平成22年3月15日				0	403,270
		イ大規模修繕							

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称					
		③事業所の所在地					④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)									
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積			
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)			

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (3)収益事業

①-1拠点区分コード分類	①-2拠点区分名称	①-3事業類型コード分類	①-4実施事業名称			②事業所の名称					
		③事業所の所在地					④事業所の土地の保有状況	⑤事業所の建物の保有状況	⑥事業所単位での事業開始年月日	⑦事業所単位での定員	⑧年間(4月～3月)利用者延べ総数(人/年)
		⑨社会福祉施設等の建設等の状況(当該拠点区分における主たる事業(前年度の年間収益が最も多い事業)に計上)									
		ア 建設費	(ア) 建設年月日	(イ) 自己資金額(円)	(ウ) 補助金額(円)	(エ) 借入金額(円)	(オ) 建設費合計額(円)	ウ 延べ床面積			
		イ 大規模修繕	(ア) - 1 修繕年月日(1回目)	(ア) - 2 修繕年月日(2回目)	(ア) - 3 修繕年月日(3回目)	(ア) - 4 修繕年月日(4回目)	(ア) - 5 修繕年月日(5回目)	(イ) 修繕費合計額(円)			

1 1. 前会計年度における事業等の概要 - (4)備考

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

11-2. うち地域における公益的な取組(地域公益事業含む)(再掲)

①取組類型コード分類	②取組の名称		③取組の実施場所(区域)							
	④取組内容									
地域における公益的な取組⑨(その他)	パン教室		デイセンターあすなる							
地域における公益的な取組⑩(地域の関係者との行政・サービス事業者等と)	ゆうあいフェスティバル		清水友愛の里特設会場							
	洞爺湖町清水区自治会との合同行事を9月に実施している。									
	見守り支援		清水友愛の里 5/9							

の連絡調整事業	洞爺湖町より要請を受け、近隣の高齢者宅へ様子伺いに訪問し、必要な連絡調整を行っている。	
地域における公益的な取組⑨（その他）	地域生活者による町内のゴミ拾い	洞爺湖町内
	地域生活者と職員が普段通勤等で利用している道やグループホーム周辺のゴミ拾いを年1回実施している。	

1 2. 社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画の策定の状況 （社会福祉充実残額算定シートを作成するまで編集することはできません）

(1) 社会福祉充実残額等の総額（円）	454,520,000
(2) 社会福祉充実計画における計画額（計画期間中の総額）	
①社会福祉事業又は公益事業（社会福祉事業に類する小規模事業）（円）	502,300,000
②地域公益事業（円）	0
③公益事業（円）	0
④合計額（①+②+③）（円）	502,300,000
(3) 社会福祉充実残額の前年度の投資実績額	
①社会福祉事業又は公益事業（社会福祉事業に類する小規模事業）（円）	0
②地域公益事業（円）	0
③公益事業（円）	0
④合計額（①+②+③）（円）	0
(4) 社会福祉充実計画の実施期間	平成29年8月1日 ~ 平成33年3月31日

1 3. 透明性の確保に向けた取組状況

(1) 積極的な情報公表への取組

①任意事項の公表の有無	
㊦事業報告	1 有
㊧財産目録	1 有
㊨事業計画書	1 有
㊩第三者評価結果	2 無
㊪苦情処理結果	1 有
㊫監事監査結果	1 有
㊬附属明細書	1 有

(2) 前会計年度の報酬・補助金等の公費の状況

①事業運営に係る公費（円）	413,390,549
②施設・設備に係る公費（円）	3,118,000
③国庫補助金等特別積立金取崩累計額（円）	169,204,132

(3) 福祉サービスの第三者評価の受審施設・事業所について

施設名	直近の受審年度
該当ありません	

1 4. ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況

(1) 会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況

①実施者の区分	04 税理士法人
②実施者の氏名（法人の場合は法人名）	税理士法人 さくら総合会計
③業務内容	イ 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援
④費用〔年額〕（円）	583,200

(2)法人所轄庁からの報告徴収・検査への対応状況

①所轄庁から求められた改善事項

清水友愛の里 平成29年10月20日 胆社福第4319号
(1) 指定障害者支援施設一般原則について
ア 施設障害福祉サービスについて
指定障害者支援施設は、利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービスの提供に努めなければならないとされている。しかしながら、貴施設においては、次のとおり利用者の人格を無視し、尊厳を著しく傷つける権利侵害行為である虐待が確認された。
・従業員が利用者の口の中に歯磨き粉の容器を入れ、不快感を与えたこと。また、次のとおり利用者に対し不適切な行為を行っていたことが確認された。・従業員が日中活動中の利用者の帽子を払い飛ばしたこと。
については、利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った施設障害福祉サービスを提供するよう改善すること。（条例第4条第2項）
イ 利用者の人権の擁護、虐待の防止等について
指定障害者支援施設は、利用者の人権の擁護、虐待の防止等のため、責任者の設置その他の必要な体制の整備を行うとともに、その従業員に対し、研修の実施その他の措置を講ずるよう努めなければならないとされている。しかしながら、貴施設においては、虐待防止委員会を設置し、利用者の人権擁護・虐待防止に係る研修及び事例検討の実施など、必要な体制の整備等を講じていたにもかかわらず、虐待に関する理解が不十分な従業員による利用者への虐待が認められた。については、朝礼や送り等の機会を活用し、日頃から従業員に対し虐待を防止するための支援方法等について更なる指導の徹底を図るとともに、研修については、虐待防止に関する内容に加え、利用者の障がい特性についての理解や情報共有等基本的な対応方法を網羅した、実効性のあるものとし、速やかにその内容・実施方法の抜本的な見直しを行うこと。（条例第4条第3項）
(2) 介護について
指定障害者支援施設における介護は、利用者の心身の状況に応じ、利用者の自立の支援及び日常生活の充実に資するよう、適切な技術をもって行わなければならないとされている。しかしながら、貴施設においては、技術習得のために参加した外部研修受講者による伝達研修の開催が不定期であり、従業員の介護技術習得に係る取組が不十分であることが確認された。については、利用者的人格に十分配慮するとともに、利用者的心身の状況に応じて、利用者の自立の支援及び日常生活の充実に資するよう、適切な技術をもって介護を提供すること。（条例第28条第1項）
(3) 管理者による管理等について
指定障害者支援施設の管理者は、当該指定障害者支援施設の従業員及び業務の管理その他の管理を一元的に行わなければならないとされている。また、当該指定障害者支援施設の従業員に運営に関する基準を遵守させるために必要な指揮命令を行うものとされている。しかしながら、貴施設においては、次のとおり管理者による当該施設の管理が適切に行われているとは言い難い状況にあることが確認された。
・職員による利用者への不適切な支援などの事故が発生した際の、施設内での伝達及び情報共有手段が確立されておらず、即時かつ適切な対応に支障があること。・虐待に関する理解が不十分な従業員による利用者への虐待が発生しており、従業員に運営に関する基準を遵守させるための指揮命令が十分行われていないこと。
については、事業者である貴法人においては、管理者による管理等について改めて認識し、こうした状況が継続した原因を究明の上、具体的な再発防止策とともに報告すること。（条例第43条第2項及び第3項）

②実施した改善内容

(1) 指定障害者支援施設一般原則について
ア 人権侵害が発生する背景要因は、「客観的に個人として援助者としての自己と利用者の根本的な把握と理解ができていない」という、人材の質の課題の要因と、「他者の目に入りにくい閉鎖的施設運営」の環境的な二つの面から捉えられているといわれている。人材の質の課題は、一人の個人としての人間性と専門職としての専門性の二つの面が相互に関係し、環境的な課題では、地理的、組織的、運営的等複合的な閉鎖性が指摘されている。よって、人材の質については、福祉現場の人材不足は年々厳しくなっているが、人員確保のための採用を避け、質を重視し、今後は複数の判断により適性を見極めた上で確保します。新任職員で未経験又は知識の不足している者には、内部教育、外部研修への参加のみならず、「知障障害を理解するための基礎講座」（日本知的

<p>障害者福祉協会）の受講を義務付けし、その費用は法人の負担とします。また、職員の専門性向上を図るため、年間研修計画に基づき、内部研修、外部研修への参加を積極的に進めるとともに自主的な学習（自己研鑽）と福祉専門資格取得を奨励することとし、その費用は法人の負担とします。環境的な課題については、可能な限り、複数の職員による支援を基本とし、困難事例への対応、不適切な対応に気づく等の相談・指摘できる体制とします。 イ「障害者虐待の防止と対応の手引き」（厚生労働省）に基づき、虐待防止責任者の配置、内部組織としての虐待防止委員会の設置、さらには虐待に気づくための虐待発見・防止チェックリストとより良い支援を目指すための業務振り返りチェックシート等の活用、利用者の人権擁護・虐待防止に係る研修及び事例検討（ケース研究）の実施等虐待防止に努めていたところである。これらの継続的な実施と人権意識の共有を図るため、「行動規範」の周知徹底の強化、毎日行っている朝礼（夜勤報告）において、「倫理綱領」を朗読し、職員全員の人権意識の喚起を図ります。新任職員で未経験又は知識の不足している者には、内部教育、外部研修への参加のみならず、「知的障害を理解するための基礎講座」（日本知的障害者福祉協会）の受講を義務付けし、職員の専門性向上を図るため、年間研修計画に基づき、内部研修、外部研修への参加を積極的に進めるとともに自主的な学習（自己研鑽）と福祉専門資格取得を奨励します。また、「ヒヤリハット報告書」、「困難事例」、「個別支援計画」及び「モニタリング」を活用し、各種会議等で分析・検討・周知徹底し、支援姿勢・方法の共有化を図ります。</p> <p>（２）介護について 加齢傾向、機能低下の中で起きる転倒、誤嚥等を想定し、防止、対応について、介護福祉士又は看護師の資格を有している職員が講師となり、介護技術に関する内部研修を行っているところである。この内部研修の充実強化を図るとともに、介護福祉士等の資格取得を目指している職員を奨励し、資格取得等における通信教育受講等経費を助成することとします。また、外部研修に参加した職員の研修報告については、その内容に応じて行っていたところであるが、今後は、研修に参加した全ての職員が直近の支援会議等で研修資料により伝達する体制とします。</p> <p>（３）管理者による管理等について 福祉の仕事に携わる者は、利用する人たちの尊厳や権利を守る人権意識と感性豊かな人間性を備える必要がある。施設としては、「障害者の権利擁護の拠点」として実務的な防止のための取り組みを進めていたが、結果的にこのような事案が発生してしまった。管理又は指揮命令が十分ではないとの指摘を真摯に受けとめ、その責任を痛感している。不適切な支援が発生した際の伝達手段等については、「支援マニュアル」で示していたが、浸透していなかったことが原因であります。「見ぬぶり」、「聞かぬぶり」、「知らぬぶり」の体質、甘さを改善できなかった管理者の責任は重大であります。障害者虐待を防止するためには、管理者が現場に直接足を運び支援場面の様子をよく見たり、雰囲気を感じたりし、不適切な対応が行われていないか日常的に把握しておくことが重要であります。これまで以上に頻繁に巡回し、職員との意思疎通や業務実態を把握するとともに、権利擁護の姿勢を強固なものとし、どんな小さなことも見逃さない厳しい姿勢での取り組みを進めてまいりたいと考えます。十分に指導監督・育成教育が行き届かなかったことから、管理者を変更します。</p>

15. その他

退職手当制度の加入状況等（複数回答可）

① 社会福祉施設職員等退職手当共済制度（（独）福祉医療機構）に加入	1 有
② 中小企業退職金共済制度（（独）勤労者退職金共済機構）に加入	2 無
③ 特定退職金共済制度（商工会議所）に加入	2 無
④ 都道府県社会福祉協議会や都道府県民間社会福祉事業職員共済会等が行う民間の社会福祉事業・施設の職員を対象とした退職手当制度に加入	1 有
⑤ その他の退職手当制度に加入（具体的に：●●●）	
⑥ 法人独自で退職手当制度を整備	2 無
⑦ 退職手当制度には加入せず、退職給付引当金の積立も行っていない	2 無

○平成30年度現況報告書(別紙)

法人名	社会福祉法人あぶた福祉会
-----	--------------

①苦情解決の仕組みの状況

施設又は事業所の名称	苦情解決体制		
	苦情解決 責任者	苦情受付 担当者	苦情解決 第三者委員
障害者支援施設 清水友愛の里	○	○	○
デイセンターあすなろ	○	○	○
デイセンターいちばんぼし	○	○	○
地域サポートセンターふれんど	○	○	○

※現在経営している施設又は事業所において、設置されている場合は○をつけてください。

②ISO9001 認証取得状況 ……該当施設 ×

認証取得年度	認証取得施設名

※該当施設がある場合は、プルダウンから「○」を選択した上で、取得年度及び取得施設名を入力してください。

※①及び②については、必要に応じて欄を追加した上で入力してください。